



にじぐみだより

2019年度 9月号

あまの ゆき・みずたに さやか



朝夕の心地よい風に、少しずつ秋の気配を感じる季節となりましたが、日中はまだまだ「残暑」という言葉通り夏の暑さが残る毎日。子どもたちは汗ばみながら元気に遊んでいます！
この時期は少しずつ過ごしやすくなりますが、夏の疲れが出たり、気温差から体調を崩したりしやすい時期です。体調の変化に十分気をつけながら今月も元気に体を動かしたり、友だちと関わったりしながら楽しく過ごしていきたいと思います。

運動の秋！食欲の秋！芸術の秋！活動量や言葉が増えたにじ組の子どもたちと一緒に、より様々な物事に興味・関心を持ち探索活動を楽しみながら、この秋を満喫したいです♪



夏ならではの水遊び。あっとい間でしたが、水の感触を楽しみました♪

【子どもの様子】

両足両手を動かして交互性の動きを遊びの中で取り入れています！



つき組の遊びをまねしたり、自分たちで遊びを考えたり工夫したりする姿が増えました。最近、自然と友だちと関わりを持ち気付くと数名でいる姿も多く見られます。

腕を肩より上げ、つま先で立ち背のびしながらバランスを取って何枚もマグネットを取ったりつけたり…♪

【お知らせ・お願い】

- 日によって気温差があるので調節できる服をご用意下さい。
- 生活リズムを整えていけるよう、できるだけ睡眠時間は一定の時刻にする習慣をつけましょう。

【保育目標】

- 生活リズムを整えて快適に過ごす。
- 戸外遊びや散歩で、身近な秋の自然に触れる。
- 保育士や友だちと一緒に体を動かして遊ぶことを楽しむ。

【今月のうた】

とんぼのめがね



こうした普段子どもたちが遊びの中で何気なく取り入れている動き（粗大運動・微細運動）は、幼児期やその後の運動能力の発達に大いに関係していきます。

まず、全身を使った粗大運動の発達過程で代表的なのが、赤ちゃんが生まれてから歩行までの発達です。「首のすわり」「寝返り」「ひとりすわり」…「ひとり歩き」と一定の順序を踏んで成長していくことが大切です。特に、「寝返り」は自分の中心線を知るとも大事な過程です。赤ちゃん時代の姿勢運動発達は1つ1つがとても大切な成長過程で、のちのち運動能力を身に付けるための基礎となるのです。乳児期に粗大・微細運動をバランスよく取り入れ、しっかりとした土台を築くことがとても大事です。にじ組の子どもたちはその動きを遊びの中でごく自然に取り入れ育んでいます。子どもたちにとって遊びは「全て学び」です！！私たち保育士は、その土台をよりしっかりしたものにしていけるように環境を整え、「できた！」「やった～！」の、子どもたちにとっての成功・達成経験を遊びの中で多く積み重ね自信につなげていくことで、自己肯定感を育んでいけるように関わっていききたいと思います。



おたんじょうび おめでとう！！

27日

しばた

みなとくん

